

報告第15号

令和3年度公益財団法人宇治市公園公社経営評価の報告について

宇治市の出資法人への関わり方の基本的事項を定める条例第5条第1項の規定に基づき、令和3年度公益財団法人宇治市公園公社経営評価について、別紙のとおり報告する。

令和4年9月21日提出

宇治市長 松 村 淳 子

4公宇公第161号
令和4年6月7日

宇治市長 松村 淳子 様

所在地 宇治市広野町八軒屋谷25-1
法人名 公益財団法人宇治市公園公社
代表者氏名 理事長 吉田 博宣



宇治市出資法人自己評価報告書の提出について

宇治市の出資法人への関わり方の基本的事項を定める条例第4条第2項の規定に基づき、次のとおり報告します。

宇治市出資法人自己評価報告書

1. 法人の概要

団体名	公益財団法人 宇治市公園公社	設立年月日	昭和63年7月11日
公益財団法人への移行年月日			平成22年10月1日
基本財産	30,000千円 (移行前 30,000千円 うち市出えん・出資額 30,000千円 出資比率100%)		
設立目的	宇治市における都市緑化推進事業及び公園緑地事業の発展振興を図り、市街地の緑化及び緑地保全を促進するとともに、都市公園等の円滑な管理運営及び健全な利用を通じてスポーツ・レクリエーションの振興を図り、もって都市環境の改善と市民福祉の増進に寄与する。		

2. 役職員等の状況

		令和元年度			令和2年度			令和3年度		
		市職員	市OB		市職員	市OB		市職員	市OB	
役員等	常勤	1	0	1	1	0	1	1	0	1
	非常勤	22	3	3	22	3	3	22	3	3
職員	管理職	6	0	5	6	0	5	6	0	5
	一般職	19	0	0	20	0	0	20	0	1
	計	25	0	5	26	0	5	26	0	6

*役員等と職員を兼務している場合はそれぞれ1名でカウントしている。

3. 事業の概要

主要事業名	事業内容
緑化推進事業	都市緑化基金の造成、管理及び運営 都市緑化の推進を図るための調査研究、助成事業等 市民の緑化意識の向上 自然環境の保護及び整備 植物文化の普及及び向上
都市公園・都市公園施設の管理運営事業	宇治市植物公園、西宇治公園・巨椋ふれあい運動ひろば、黄檗公園・東山公園の管理及び運営
スポーツ・レクリエーション事業	スポーツ需要の拡大及び健康の維持増進のための健康づくり講座

4. 財務状況

1) 正味財産の状況

(単位：円)

年 度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
収 益	327,144,292	329,530,470	333,700,733
収益事業収益等	16,013,687	15,557,496	13,207,547
市 支 出 金	311,130,605	313,972,974	320,493,186
人 件 費	121,905,013	115,179,620	117,641,186
事 業 費	189,225,592	198,793,354	202,852,000
費 用	331,263,202	327,191,777	331,491,249
人 件 費	137,155,991	124,366,421	127,186,497
事 業 費	194,107,211	202,825,356	204,304,752
当期経常増減額	△4,118,910	2,338,693	2,209,484
当期正味財産増減額	△2,770,640	632,670	2,012,911
期末正味財産合計額	171,190,443	171,823,113	173,836,024

2) 貸借対照表

(単位：円)

年 度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
資産合計	224,561,197	239,022,413	233,375,961
流動資産	13,396,748	24,434,059	16,162,046
固定資産	211,164,449	214,588,354	217,213,915
負債合計	53,370,754	67,199,300	59,539,937
流動負債	21,924,872	31,986,886	24,244,882
固定負債	31,445,882	35,212,414	35,295,055
正味財産合計	171,190,443	171,823,113	173,836,024
基本財産	30,791,343	30,575,343	30,341,343
その他正味財産	140,399,100	141,247,770	143,494,681

3) 市財政支出の状況

(単位：円)

年 度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
補 助 金	121,905,013	115,179,620	117,641,186
委 託 料	189,225,592	198,793,354	202,852,000
その他(分担金等)	0	0	0
計	311,130,605	313,972,974	320,493,186
貸 付 金	0	0	0
借入金残高(期末)	0	0	0
市の債務保証残高(期末)	0	0	0
市の損失補償残高(期末)	0	0	0

4) 主要経営指標

指標	算式	令和元年度	令和2年度	令和3年度
人件費比率	人件費計÷費用計	41.4%	38.0%	38.4%
自己資本比率	正味財産計÷資産計	76.2%	71.9%	74.5%
流動比率	流動資産÷流動負債	61.1%	76.4%	66.7%
借入金依存度	借入金残高÷総資産	0%	0%	0%
借入金返済能力	長期借入金÷(減価償却費+税引後利益)	0%	0%	0%

5. 経営評価（法人自己評価）

視点	評価	コメント
目的適合性	A	<p>当社は、都市環境の改善と市民福祉の増進に寄与することを目的とし、都市緑化事業に取り組み、緑豊かなまちづくりとスポーツ・レクリエーションの振興、健康づくりを推進する事業の発展的展開を図ってきた。また、公益法人として、公益目的事業の推進に努めている。</p> <p>「緑化推進事業」については、都市緑化基金の運用益を活用し、民有地の緑化と花と緑のある街づくりを推進するため、各種助成事業を実施すると共に、都市緑化意識の高揚を図り、地域での緑化を実践する人材育成を目的に「宇治みどりの学校」を開催している。又、緑化の普及、啓発事業を実施すると共に、宇治市緑化ボランティア「緑の会」の技術支援、活動支援を行っている。</p> <p>「宇治市植物公園」については、開園25周年の節目の年となり、この間、都市緑化の拠点として、市街地の緑化保全の推進並びに市民の緑化意識の向上及び宇治地域植物の保存・育成に寄与し、併せて環境保全、防災、景観、福祉、市民参画、レクリエーション等の機能を有する「みどりの総合拠点」としての役割を果たしてきた。公園運営においては、市民参画協働、産学官連携、各種団体、地域との連携を基本方針に「宇治市植物公園サポーター制度」を構築し、花と水のタペストリーの絵柄更新、サポーターボランティアによる植物管理、施設改修を実施すると共に、各種学校との連携事業の実施やマルシェの開催などにより、市民、地域が身近に利用できる公園づくりに努めている。</p> <p>「運動公園等」については、公認スポーツ施設管理士、公認スポーツ施設運営士等の有資格者の職員を配置し、安全安心な管理・運営のもと、市民サービスの向上とスポーツ・レクリエーションの振興を基軸に置いた各施設の管理・運営を行っている。又、当社の自主事業として多様な健康運動教室や地域向け文化教室、地域行事の開催支援等を行い、市民の健康増進と市民スポーツの普及に努め</p>

		<p>ると共に地域に根差した施設として、地域活動との連携、支援にも努めている。</p> <p>一方、令和4年度から5年間の次期指定管理者の選定は、宇治市植物公園、運動公園等を分離し公募制となったことから、当会社としては、継続して両方の指定管理者に選定されるよう、長年に渡る管理・運営の実績に加え、利用促進、市民参画協働、産学官連携、各種団体、地域との連携の推進を基本方針に掲げ、多彩な事業展開を基軸とした「事業計画書」を作成し、「宇治市植物公園」及び「運動公園等」の指定管理者に応募した。結果、両方ともに指定管理者の指定を受けることができた。</p>
効率性	A	<p>「公社事務局」については、振込業務の電子化、一元的な会計処理の電算化など事務の簡素化と効率化に努めている。</p> <p>「緑化推進事業」については、都市緑化基金の積極的な運用を行い、多様な事業が実施できるよう事業費の確保に努めている。</p> <p>「宇治市植物公園」については、限られた人員の中で、数多くの展示会・講習会、イベントを実施するため、フレックスタイムの導入による柔軟な勤務体系の構築や、これまで培ってきた経験と知識、データ等を最大限に活用して施設の管理・運営の効率化を図っている。</p> <p>「運動公園等」については、施設管理や運営のための有資格者を配置することにより、専門的な立場から安全で、効率的・効果的な業務の推進を図っている。</p>
組織運営健全性	C	<p>公益法人の核として、ガバナンスの強化を図ると共に、各施設の特色を、それぞれの運営に最大限に活かせるよう、定期的な会議の実施などにより、組織間の連携強化、各種事業の共有化を図っている。また、過去の教訓を活かし、更なるコンプライアンスの強化にも努めてきたところであるが、令和4年4月に巨椋ふれあい運動ひろばの運営において発覚した市外利用者の利用料金の誤徴収については、利用者に多大な迷惑を掛け当社の信頼を大きく損ねることとなった。当会社として真摯に反省するとともに、信頼回復、再発防止に向けて、改めて全ての施設運営において、宇治市の関係条例や規則等の確認を行った。今後も定期的な確認により、法令の遵守を徹底することとした。</p> <p>一方、公益法人の適正な会計処理として、定期的な監査の実施や税理士による専門的なチェックを行っている。</p> <p>さらに、接客マニュアル、救急マニュアルと緊急時対応マニュアル等に基づく、顧客サービスの向上、安全安心な施設利用と危機管理体制の確立に努めると共にホームページによる情報発信と法人情報の公開により、経営の透明性の確保を図っている。</p>
財務健全性	B	<p>平成18年度から指定管理者の指定を受け、補助金、指定管理料の中で各施設の管理運営を行っているが、この間、公益法人として、</p>

	<p>収入面では、安定した経営基盤の確保と公益事業の充実を目的に自主事業収入を増やすための各種事業の実施に努めている。しかし、令和3年度は、令和2年度から続く新型コロナウイルスの感染拡大防止のための閉園、施設の利用制限等に伴い、運動公園等における自主事業収入が減少し、厳しい施設運営となったが、経費の縮減などにより、乗切ることができた。</p> <p>「宇治市植物公園」については、入園者の増加を図るため、施設や見所等の広報の充実をはじめ、タイムリーな企画や参加型の企画等を積極的に講習会、イベント等に取り入れるなどにより、入園者数は、平成18年度以降概ね10万人を確保してきている。しかしながら、令和3年度は、令和2年度に引き続き、新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、最も集客のある4月下旬から6月下旬及び8月下旬から9月末まで、99日間に及ぶ休園に加え、開園後も各種イベントの中止、規模の縮小などを行い第1、第2四半期の入園者数は、令和元年度比62%減となったが、第3四半期以降は、コロナ対策を行いながら、市民いけばな展やナチュラルマルシェの新規開催、紅葉のライトアップ等集客増の取組により、年間入園者数は、昨年度とほぼ同数の86,134人となり、令和元年度比14%減に止めることができ、利用料収入も前年度とほぼ同額となった。</p> <p>「運動公園等」については、新型コロナウイルス感染拡大により、宇治市植物公園同様、4月下旬から6月下旬、8月下旬から9月末まで、99日間に及ぶ閉園となり、再開後も各種大会の中止や利用控え等により、利用者総数は、昨年度とほぼ同様に令和元年度比約43%減となり、利用料収入も令和元年度比38%減となった。又、施設利用者の利用率の向上と自主事業収入の増加を図るため、各種健康教室を開催すると共に、新種目の企画による利用者の増加に向けた取組を間断なく行っているが、新型コロナウイルス感染拡大防止のための閉園に伴う休止に加え、再開後も各教室の利用人数を半数に減らして実施したことにより、利用者数は、令和2年度を少し上回ったものの、新型コロナウイルスの影響がほとんどなかった令和元年度の約半数強の延べ6,917人となり、利用料収入も、半減の約610万円となった。</p> <p>なお、自主事業収入は、公益目的事業にも充当し、公益目的事業の充実を図っているところであるが、収益の大幅な減少により、2年連続で厳しい状況となった。</p>
総合評価	<p>B</p> <p>「指定管理者」としては、指定管理料を有効に活用し、市民サービスの向上、施設利用者の増加に努めると共に、経費の削減や効率的な管理・運営の推進にも努めている。一方、「公益法人」としては、健全で透明性の高い経営と市民満足度の高い施設の運営を通して、効果的な公益目的事業の実現に努めているところである。</p> <p>一方で、令和4年4月に発覚した巨椋ふれあい運動ひろばの運</p>

	<p>営における、利用料金の誤徴収については、当公社として真摯に反省し、信頼回復、再発防止に向け組織一体で取り組んでいかなければならない。</p> <p>令和3年度の各施設の管理・運営事業は、新型コロナウイルス感染拡大防止のための休園等により、年度事業計画に沿って、各種事業を実施することができない状況となった。中でも自主事業については、参加者数の制限や施設全体の利用者数の減少により、収益が大幅に減少し、自主事業収入による公益目的事業への振替が厳しい状況となった。しかしながら、そのような中にあっても、利用者の安全を最優先に、新型コロナウイルス感染対策を行いながら、新規事業の実施や利用者増の取組などにより、少しでも多くの利用者の確保、利用料収入の確保に努めた。また、令和4年度からの指定管理者の公募に際し、各施設間の連携の下で指定管理期間5年間の利用促進や多彩な公園運営に向けた事業計画が策定でき、宇治市植物公園、運動公園、巨椋ふれあい運動ひろばの指定管理者に継続して選定されたことは、大きな成果であった。</p>
--	---

評価の目安 A：良好である B：ほぼ良好である C：やや課題がある D：課題が多い